

2019年3月11日に、証券アナリスト、機関投資家向けに「第2回 Tokyo Steel Eco Vision2050 説明会」を開催しました。

冒頭、2017年6月に公表した長期環境ビジョン Tokyo Steel EcoVision 2050 についてスライド動画を用いて説明した後、今日までの当社の電気炉鋼材普及活動について、東京五輪「持続可能性運営計画」への提言に向けた公開ブリーフィングに参加した事例などを交えて説明いたしました。

続けて行われた「CDP A マイナス 獲得について」のプレゼンテーションでは、企業に対して気候変動の取り組みについて開示を求める CDP のスコアは、世界的に最も信頼されるサステナビリティ評価指標の一つであり、2018年においては、Tokyo Steel EcoVision 2050 の理念に沿った当社の回答内容が高く評価され、世界の鉄鋼業でわずか2社しかない「A マイナス」を取得しました、と説明いたしました。

また、環境に配慮した「グリーンビルディング」が世界的な広がりを見せるなか、当社は、H形鋼についてライフサイクルアセスメントの手法を用いて環境負荷を数値化し、第三者機関より EPD の認証を受けたこと、EDP 取得後の活動方針として環境に配慮した建築案件における採用の促進に努めることなどの説明をいたしました。

結びとして、当社代表取締役社長 西本利一は、Tokyo Steel Eco Vision 2050 を達成するため、老廃屑主体で良質な製品を製造し、真の循環型社会・低炭素社会の構築をはかり、地球環境保全に貢献すると強い決意を表明しました。

最後に参加者と質疑応答を行って、約1時間15分の説明会を終了しました。

